平成２７年度

稲敷市水道事業会計決算の概要

水　道　事　業　会　計

工業用水道事業会計

平成27年度　水道事業会計決算の概要

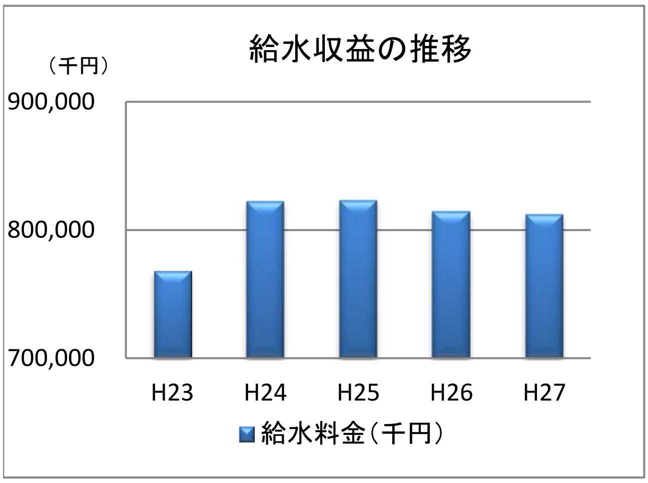
◎　総括事項

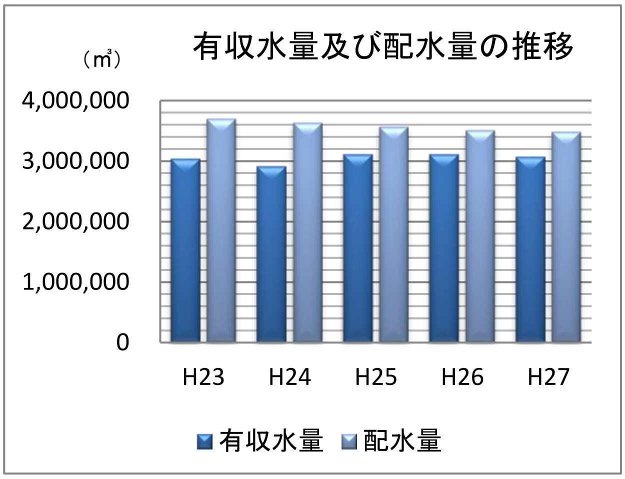
平成27年度末の給水人口は30,044人で，給水件数は10,772件，普及率では71.0％となり，前年度に比べ件数で110件，普及率で2.0％の増加となりました。

年間配水量3,511,446㎥，有収水量3,062,788㎥で，有収率は87.2％となりました。

事業収益は967,367千円で，うち営業収益の給水収益は812,119千円となり，前年度に比べ0.3％の減少となりました。事業費用は915,539千円で，損益では51,828千円の純利益となっております。施設更新計画事業については，アセットマネジメントを策定しました。

資本的支出は241,615千円で，うち配水管施設改良費は，183,911千円となり，配水管新設・布設替工事等13件を実施しました。





◎　業務の実績

項　　目	単位	平成27年度	平成26年度	増減	増減率(%)
給水区域内人口	人	42,333	43,432	△ 1,099	△ 2.53
給水人口	人	30,044	29,951	93	0.31
普及率	%	71.0	69.0	2.0	2.90
計画給水人口	人	43,050	43,050	0	0.00
給水件数	件	10,772	10,662	110	1.03
給水件数（一般家庭用）	件	10,041	9,936	105	1.06
新規加入件数（全体）	件	155	144	11	7.64
新規加入件数（一般家庭用）	件	127	122	5	4.10
導・送・配水管延長	m	515,201	510,893	4,308	0.84
配水能力	日/㎥	14,228	14,228	0	0.00
年間配水量	㎥	3,511,446	3,483,571	27,875	0.80
県水受水量	㎥	3,203,272	3,113,266	90,006	2.89
自己水源	㎥	457,315	508,903	△ 51,588	△ 10.14
年間有収水量	㎥	3,062,788	3,070,933	△ 8,145	△ 0.27
有収率	%	87.2	88.2	△ 1.0	△ 1.13
一日平均配水量	㎥	9,594	9,544	50	0.52
一日最大配水量	㎥	11,042	10,792	250	2.32

◎　比較損益計算書

（単位:円）

科　　　目	平成27年度	平成26年度	増減	増減率（%）
事　業　収　益	**967,366,929**	**970,909,529**	**△ 3,542,600**	**△ 0.36**
営　業　収　益	837,129,341	839,624,320	△ 2,494,979	△ 0.30
営　業　外　収　益	130,237,588	131,285,209	△ 1,047,621	△ 0.80
特　別　利　益	0	0	0	0.00
事　業　費　用	**915,538,820**	**924,128,450**	**△ 8,589,630**	**△ 0.93**
営　業　費　用	901,489,720	904,630,988	△ 3,141,268	△ 0.35
営　業　外　費　用	13,447,462	15,022,024	△ 1,574,562	△ 10.48
特　別　損　失	601,638	4,475,438	△ 3,873,800	△ 86.56
営　業　利　益	△ 64,360,379	△ 65,006,668	646,289	0.99
経　常　利　益	52,429,747	51,256,517	1,173,230	2.29
当　年　度　純　利　益	**51,828,109**	**46,781,079**	**5,047,030**	**10.79**
前年度繰越利益剰余金	**0**	**445,305,753**	**△ 445,305,753**	皆減
その他未処分利益剰余金変動額	**0**	**227,457,397**	**△ 227,457,397**	**皆減**
当年度未処分利益剰余金	**51,828,109**	**719,544,229**	**△ 667,716,120**	**△ 92.80**

◎　比較貸借対照表

（単位:円）

科　　　目	平成27年度	平成26年度	増減	増減率（%）
固　定　資　産	6,047,481,001	6,194,146,387	△ 146,665,386	△ 2.37
流　動　資　産	1,059,986,686	993,769,564	66,217,122	6.66
資　産　合　計	**7,107,467,687**	**7,187,915,951**	**△ 80,448,264**	**△ 1.12**
固　定　負　債	602,632,673	649,819,057	△ 47,186,384	△ 7.26
流　動　負　債	181,124,807	192,429,566	△ 11,304,759	△ 5.87
繰　延　収　益	1,750,025,225	1,831,224,455	△ 81,199,230	△ 4.43
資　本　金	3,491,584,273	3,256,712,876	234,871,397	7.21
剰　余　金	1,082,100,709	1,257,729,997	△ 175,629,288	△ 13.96
負債・資本合計	**7,107,467,687**	**7,187,915,951**	**△ 80,448,264**	**△ 1.12**

◎　企業債

平成27年度企業債償還額は55,646,944円で，年度末未償還残高は603,361,621円となります。
未償還残高は，これまで企業債借入れを抑制してきたことから毎年減少し，平成26年度末未償還残高と比較しますと8.4%の減となります。

企業債増減額

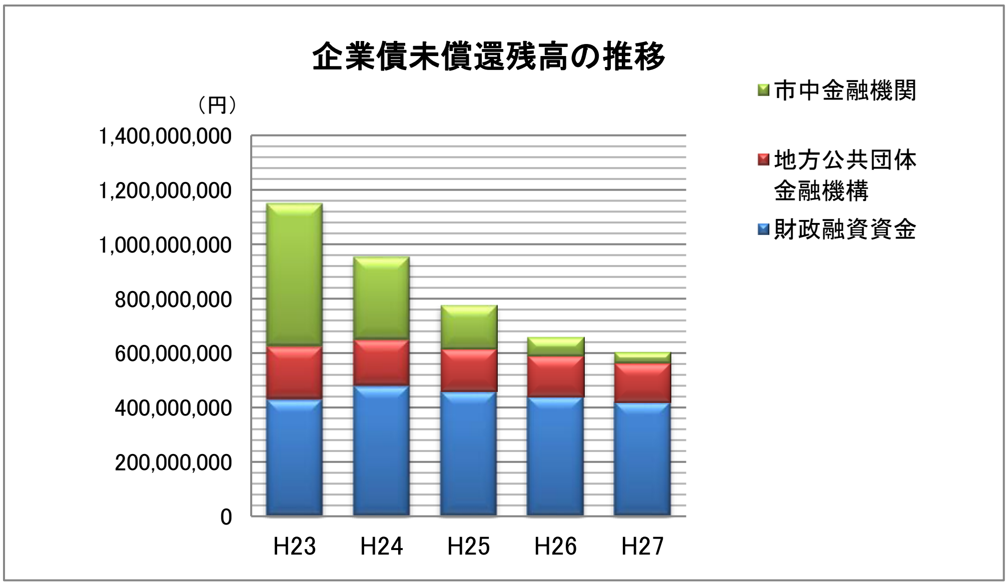
(単位:円)

項　目	発行総額	26年度末残高	27年度		償還高累計額	27年度末未償還残高
			借入額	償還額		
財政融資資金	585,600,000	439,757,445	0	20,454,489	166,297,044	**419,302,956**
地方公共団体金融機構	177,200,000	151,072,142	0	6,648,207	32,776,065	**144,423,935**
市中金融機関	221,000,000	68,178,978	0	28,544,248	181,365,270	**39,634,730**
合　計	983,800,000	659,008,565	0	55,646,944	380,438,379	**603,361,621**

未償還残高の推移

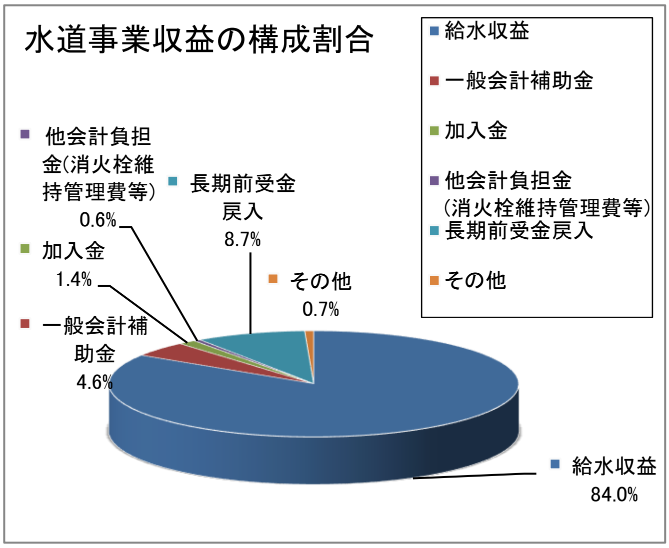
(単位：円,%)

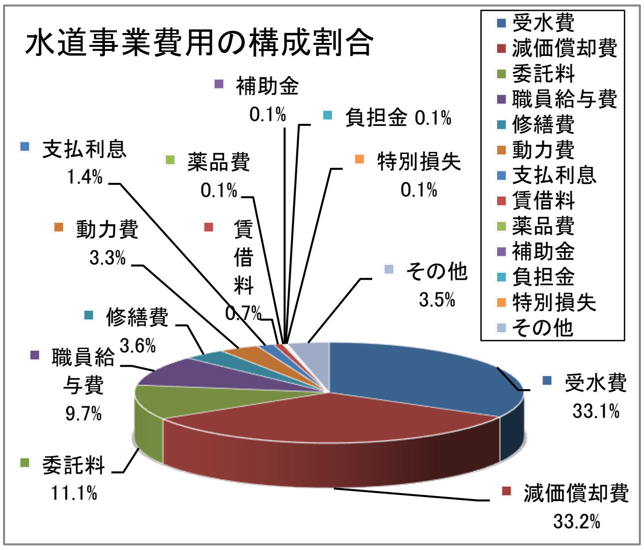
項　目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (A)	平成27年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)−(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100
財政融資資金	428,358,306	478,850,805	459,599,540	439,757,445	419,302,956	△ 20,454,489	△ 4.7
地方公共団体金融機構	195,678,172	170,168,306	157,583,690	151,072,142	144,423,935	△ 6,648,207	△ 4.4
市中金融機関	525,266,016	303,057,625	160,003,660	68,178,978	39,634,730	△ 28,544,248	△ 41.9
合　計	**1,149,302,494**	**952,076,736**	**777,186,890**	**659,008,565**	**603,361,621**	**△ 55,646,944**	**△ 8.4**



【平成27年度収益的収支】

水道事業会計のうち，施設の運転，管理等，水道事業を運営するための経費とその財源





◎ 水道事業収益の構成(税抜)

(単位:円)

科目	27年度(A)		26年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給水収益	812,119,047	84.0	814,175,242	83.9	△ 2,056,195	△ 0.3
一般会計補助金	44,958,400	4.6	45,725,000	4.7	△ 766,600	△ 1.7
加入金	13,765,000	1.4	15,140,000	1.6	△ 1,375,000	△ 9.1
他会計負担金(消火栓維持管理費等)	5,311,000	0.6	5,281,000	0.5	30,000	0.6
長期前受金戻入	84,016,950	8.7	83,468,807	8.6	548,143	0.7
その他	7,196,532	0.7	7,119,480	0.7	77,052	1.1
収益合計	**967,366,929**	**100.0**	**970,909,529**	**100.0**	**△ 3,542,600**	**△ 0.4**

◎ 水道事業費用の構成(税抜)

(単位:円)

科目	27年度(A)		26年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
受水費	302,738,172	33.1	298,756,871	32.3	3,981,301	1.3
減価償却費	303,465,556	33.2	307,690,082	33.3	△ 4,224,526	△ 1.4
委託料	101,673,789	11.1	94,278,742	10.2	7,395,047	7.8
職員給与費	88,586,194	9.7	86,842,253	9.4	1,743,941	2.0
修繕費	32,863,247	3.6	34,295,124	3.7	△ 1,431,877	△ 4.2
動力費	30,492,093	3.3	32,954,824	3.6	△ 2,462,731	△ 7.5
支払利息	13,121,451	1.4	14,598,053	1.6	△ 1,476,602	△ 10.1
賃借料	6,794,360	0.7	6,794,360	0.7	0	0.0
薬品費	1,302,160	0.1	1,247,420	0.1	54,740	4.4
補助金	1,046,297	0.1	1,166,669	0.1	△ 120,372	△ 10.3
負担金	787,663	0.1	747,063	0.1	40,600	5.4
特別損失	601,638	0.1	4,475,438	0.5	△ 3,873,800	△ 86.6
その他	32,066,200	3.5	40,281,551	4.4	△ 8,215,351	△ 20.4
費用合計	**915,538,820**	**100.0**	**924,128,450**	**100.0**	**△ 8,589,630**	**△ 0.9**

※27年度貸倒引当金:不納欠損処分2,425,742円

※26年度特別損失:不納欠損処分4,301,518円

【給水原価と供給単価】

◎　給水原価

（経常費用－（受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費＋長期前受金戻入））÷年間総有収水量

効率性の視点から見た指標の判断→「低い」ほうがよい

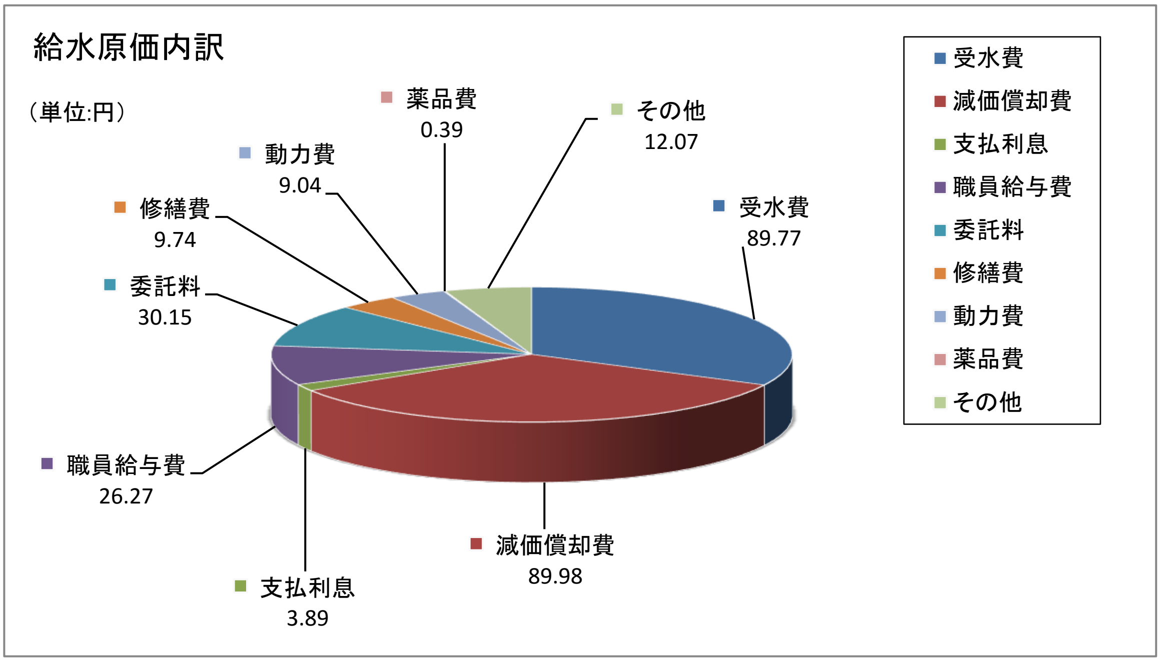
　収益につながる水量1m^{3}当たりについて，どれだけの費用がかかっているかを表すもので，1㎥の水を製造するのにいくらかかるかを示す指標です。水道の生産原価を示しています。

・給水原価とその内訳

　給水原価の使途はグラフのとおりです。給水原価271.30円のうち受水費と減価償却費が66.3%（179.75円）を占めています。

（単位：円/㎥）

区　　　　分	27年度	26年度	25年度	24年度
給水原価（A）	271.30	272.29	271.08	277.29



◎　供給単価

給水収益÷年間総有収水量

効率性の視点から見た指標の判断→「高い」ほうがよい

有収水量1m^{3}当たりについてどれだけ収益を得ているかを表すもので，1m^{3}の水を供給したときの平均収入額を見る指標です。

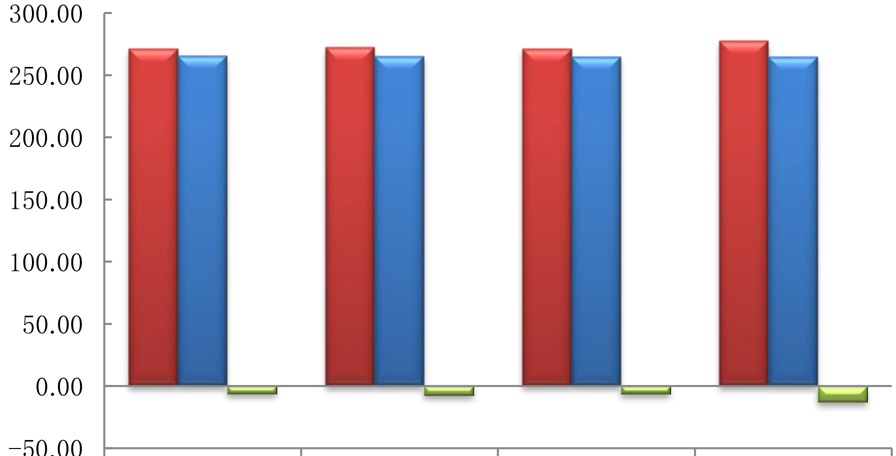
区　　　　分	27年度	26年度	25年度	24年度
供給単価（B）	265.16	265.12	264.82	264.49

◎　給水原価と供給単価の比較

「給水原価」が「供給単価」を上回っている場合は，給水にかかる費用を補うのに，水道料金以外の収入が必要な状況にあるといえます。1㎥当たりの水を供給するのにかかる費用と1㎥当たりの水道料金の平均収入を比較することにより，原価回収されているかをみることができます。供給単価と給水原価の差が，プラスになると利益が出ていることになりますが，稲敷市の場合，給水原価が供給単価を上回っている状況にあります。

給水原価と供給単価の比較

（単位:円）



	27年度	26年度	25年度	24年度
給水原価（A）	271.30	272.29	271.08	277.29
供給単価（B）	265.16	265.12	264.82	264.49
供給単価と給水原価の差額（B)−(A)	△ 6.14	△ 7.17	△ 6.26	△ 12.80

【経営分析】

◎ 財務分析表

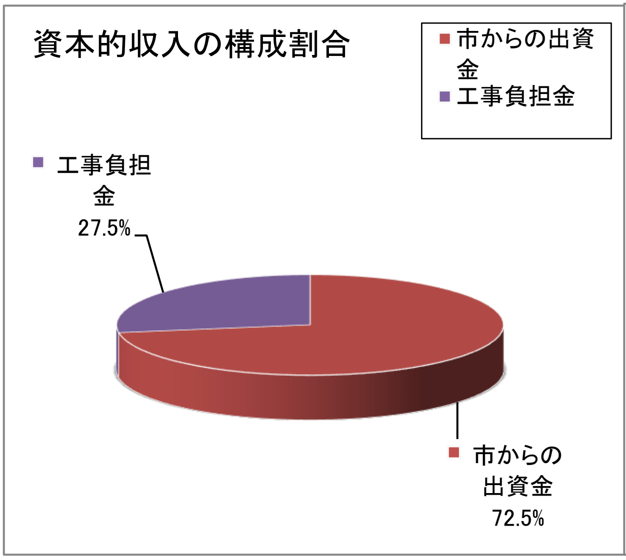
分析項目		平成27年度	平成26年度	県平均 (26年度参照)	解説
1. 自己資本構成比率(%)		89.0	88.3	63.3	総資本に対する自己資本金の占める割合。経営の安定性を判断する指標。
2. 固定資産対長期資本比率(%)		87.3	88.5	92.1	固定資産の調達が長期資本の範囲でまかなわれているかを示し，低いほど安定性が高く100%以下が望ましい。
3. 流動比率(%)		585.2	516.4	271.9	企業の支払い能力を示す。
4. 総収支比率(%)		105.7	105.1	106.4	総費用に対する総収益の割合。総収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
5. 経常収支比率(%)		105.7	105.6	108.2	経常費用に対する経常収益の割合。経常収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
6. 営業収支比率(%)		92.9	92.8	102.0	業務活動によってもたらされた営業収益と，それに要した営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり，これによって経営活動の成否が判断されるものである。
7. 企業債償還額対減価償却比率(%)		18.3	38.4	63.9	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却を比較したものである。
8. 給水収益に対する比率(%)					
	(1)企業債償還元金	6.9	14.5	23.6	料金収入に対して企業債償還額の比率を表したもの。比率は低いほど良好。
	(2)企業債利息	1.6	1.8	7.4	料金収入に対して企業債利息の比率を表したもの。比率は低いほど良好。
	(3)減価償却費	37.4	37.8	36.9	料金収入に対して減価償却の比率を表したもの。比率は低いほど良好。
	(4)職員給与費	9.8	9.6	9.8	料金収入に対して職員給与費の比率を表したもの。比率は低いほど良好。

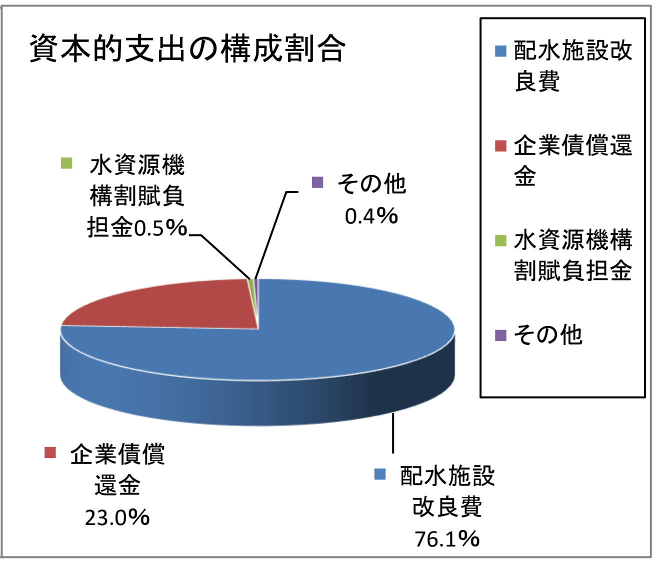
◎ 経営分析表

分析項目	平成27年度	平成26年度	県平均 (26年度参照)	解説
1. 施設利用率(%)	67.4	67.1	62.4	配水能力に対する平均の割合を示し，施設の利用度を見るものである。比率は大きいほど良い。
2. 負荷率(%)	86.9	88.4	87.9	施設が年間を通じて有効に使用されているかを示す。比率は大きいほど良い。
3. 最大稼働率(%)	77.6	75.9	71.0	配水能力に対する最大配水量の割合を示し，この率が極端に低いと過大投資を示し，逆の場合は施設の拡充が必要である。
4. 配水管使用効率(㎥／m)	6.8	6.8	13.2	配水管使用効率は，導・送・配水管の布設延長に対する年間総配水量の割合であり，給水区域の人口密度の影響を受ける。数値が高いほどよいとされている。
5. 固定資産使用効率(㎥/万円)	5.9	5.7	6.7	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。この比率が高いほど施設が効率的であり，低い場合には遊休資産・未稼働資産についての検討を要する。
6. 供給単価(円／㎥)	265.2	265.1	196.0	有収水量1㎥当たりにどれだけの収益を得ているかを表す。
7. 給水原価(円／㎥)	271.3	272.3	223.1	有収水量1㎥当たりにどれだけの費用がかかっているかを表す。
8. 職員1人当の給水人口(人)	2,504	2,723	4,399	人的資源が効率的に活用されているか否かを示す指標であり，数値が大きいほど職員1人当たりの生産性が高いことを示している。
9. 職員1人当の有収水量(千㎥／人)	255	279	441	
10. 職員1人当の営業収益(千円)	69,761	76,329	91,214	

【平成27年度資本的収支】

水道事業会計のうち，水道施設を建設・整備するための経費とその財源





◎ 資本的収入の構成（税込）

(単位:円)

科目	27年度(A)		26年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
借入金（企業債）	0	0.0	0	0.0	0	0.0
市からの出資金	7,414,000	72.5	11,328,000	67.7	△ 3,914,000	△ 34.6
国庫補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
工事負担金	2,817,720	27.5	5,402,160	32.3	△ 2,584,440	△ 47.8
資本的収入合計	**10,231,720**	**100.0**	**16,730,160**	**100.0**	**△ 6,498,440**	**△ 38.8**

◎ 資本的支出の構成（税込）

(単位:円)

科目	27年度(A)		26年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
配水施設改良費	183,911,158	76.1	124,670,446	50.9	59,240,712	47.5
企業債償還金	55,646,944	23.0	118,178,325	48.3	△ 62,531,381	△ 52.9
水資源機構割賦負担金	1,106,994	0.5	318,720	0.1	788,274	247.3
その他	949,770	0.4	1,750,810	0.7	△ 801,040	△ 45.8
資本的支出合計	**241,614,866**	**100.0**	**244,918,301**	**100.0**	**△ 3,303,435**	**△ 1.3**

◎ 資本的収支の不足額（税込）

(単位:円)

科目		27年度(A)	26年度(B)	増減(A)-(B)
資本的収支不足額		**231,383,146**	**228,188,141**	**3,195,005**
補填財源内訳	過年度分損益勘定留保資金	112,861,927	90,276,285	22,585,642
	当年度分損益勘定留保資金	104,826,330	129,570,199	△ 24,743,869
	減債積立金	0	0	0
	建設改良積立金	0	0	0
	その他（当年度消費税資本的収支調整額）	13,694,889	8,341,657	5,353,232

◎　工事概況

(1)建設改良工事の概況

（単位:円）

	工事名	施工内容		契約金額(税込)
平成25年度繰越建設改良工事	H25稲水　圏央道に伴う江戸崎地区跨道橋添架工事	配水管布設工事 橋梁添架工事 消火栓設置工事 既設管撤去工事	L=137.1m L=38.4m 1基 L=48.1m	24,599,160
平成26年度繰越建設改良工事	H26稲水　犬塚本郷地区配水管布設工事(3工区)	配水管布設工事 給水管切替工事	L=862.4m 6件	20,511,144
平成27年度建設改良工事	H27稲水　根本浄水場受水管布設工事	配水管布設工事	L=229.2m	6,658,200
	H27稲水　沼田台地区配水管布設工事	配水管布設工事	L=263.3m	9,261,000
	H27稲水　椎塚地区配水管布設工事(1工区)	配水管布設工事	L=214.7m	5,233,161
	H27稲水　椎塚地区配水管布設工事(2工区)	配水管布設工事	L=779.9m	17,697,301
	H27稲水　犬塚本郷地区配水管布設工事(1工区)	配水管布設工事 消火栓設置工事	L=553.9m 1基	15,822,864
	H27稲水　犬塚本郷地区配水管布設工事(2工区)	配水管布設工事 給水管切替工事	L=816.4m 2件	15,791,760
	H27稲水　犬塚本郷地区配水管布設工事(3工区)	配水管布設工事 消火栓設置工事	L=568.6m 1基	14,517,900
	H27稲水　県道改良に伴う月出里地区配水管布設替工事	配水管布設替工事 給水管切替工事 既設管撤去工事	L=58.8m 2件 L=37.0m	7,182,000
	H27稲水　県道改良に伴う犬塚地区配水管布設替工事	配水管布設替工事 給水管切替工事 既設管撤去工事	L=235.3m 1件 L=81.1m	12,198,168
	H27稲水　市道整備に伴う高田地区配水管布設替工事	配水管布設替工事 消火栓設置工事	L=115.5m 1基	11,628,900
	H27稲水　根本浄水場受水に伴う電気設備工事	受水電動弁盤 濾過ポンプ盤機能増設 場内配水管布設工事 電池式磁器メータ 電動仕切弁 手動バタフライ弁 ソフトシール仕切弁 配水池清掃	1面 1式 L=27.9m 1基 1基 2基 2基 1式	13,500,000

平成27年度　工業用水道事業会計決算概要

◎　総括事項

平成27年度末の給水事業所数は7件で，1日契約水量は310㎥となり，いずれも前年度と同じになりました。

年間配水量は35,247㎥で，有収水量は34,613㎥となりました。

事業収益は9,665千円で，うち給水収益については8,072千円となり，前年度に比べ1.7％の増加となりました。事業費用は5,485千円で，損益では4,180千円の純利益となっております。

◎　業務の実績

項　　　目	単位	平成27年度	平成26年度	増減	増減率(%)
給水事業所数	件	7	7	0	0.0
配水能力	日/㎥	870	870	0	0.0
導・送・配水管延長	m	1,884	1,884	0	0.0
年間配水量	㎥	35,247	33,029	2,218	6.7
年間有収水量	㎥	34,613	32,775	1,838	5.6
有収率	%	98.2	99.2	△ 1.0	△ 1.0
年間契約水量	㎥	113,460	113,150	310	0.3
一日平均契約水量	㎥	310	310	0	0.0
一日平均配水量	㎥	96	90	6	6.7
一日最大配水量	㎥	201	174	27	15.5

◎　比較損益計算書(税込)

(単位:円)

科　　　目	平成27年度	平成26年度	増減	増減率(%)
事業収益	**9,665,421**	**9,527,650**	**137,771**	**1.4**
営業収益	8,072,380	7,935,588	136,792	1.7
営業外収益	1,593,041	1,592,062	979	0.1
事業費用	**5,485,263**	**5,401,601**	**83,662**	**1.5**
営業費用	5,485,263	5,401,601	83,662	1.5
営業外費用	0	0	0	0.0
営業利益	2,587,117	2,533,987	53,130	2.1
経常利益	4,180,158	4,126,049	54,109	1.3
当年度純利益	**4,180,158**	**4,126,049**	**54,109**	**1.3**
前年度繰越利益剰余金	**0**	**16,338,273**	**△ 16,338,273**	皆減
その他未処分利益剰余金変動額	**0**	**96,976,488**	**△ 96,976,488**	皆減
当年度未処分利益剰余金	**4,180,158**	**117,440,810**	△ 113,260,652	△ 96.4

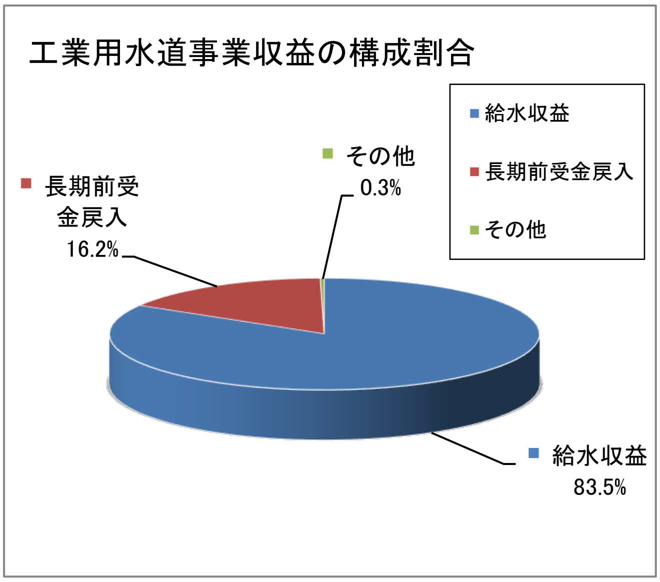
◎　比較貸借対照表

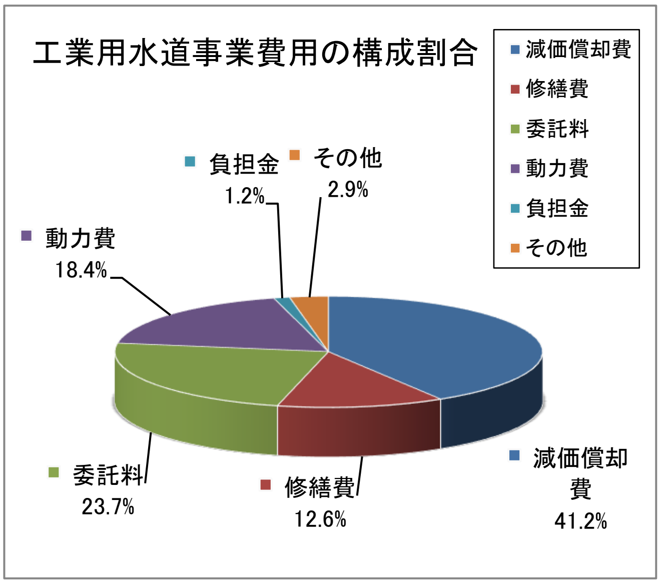
(単位:円)

科　　　目	平成27年度	平成26年度	増減	増減率(%)
固定資産	39,962,212	42,223,694	△ 2,261,482	△ 5.4
流動資産	124,356,146	120,440,917	3,915,229	3.3
資産合計	**164,318,358**	**162,664,611**	1,653,747	1.0
固定負債	6,200,000	6,200,000	0	0.0
流動負債	102,854	1,064,777	△ 961,923	△ 90.3
繰延収益	36,394,536	37,959,024	△ 1,564,488	△ 4.1
資本金	96,976,488	0	96,976,488	皆増
剰余金	24,644,480	117,440,810	△ 92,796,330	△ 79.0
負債・資本合計	**164,318,358**	**162,664,611**	1,653,747	1.0

【平成27年度収益的収支】

工業用水道事業会計のうち，施設の運転，管理等，工業用水道事業を運営するための経費とその財源





◎　工業用水道事業収益の構成（税込）

（単位：円）

科　　目	27年度(A)		26年度(B)		増減(A)−(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給　水　収　益	8,072,380	83.5	7,935,588	83.3	136,792	1.7
長期前受金戻入	1,564,488	16.2	1,564,488	16.4	0	0.0
そ　の　他	28,553	0.3	27,574	0.3	979	3.6
収　益　合　計	**9,665,421**	**100.0**	**9,527,650**	**100.0**	**137,771**	**1.4**

◎　工業用水道事業費用の構成（税込）

（単位：円）

科　　目	27年度(A)		26年度(B)		増減(A)−(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
減価償却費	2,261,482	41.2	2,541,632	47.1	△ 280,150	△ 11.0
修　繕　費	691,200	12.6	291,600	5.4	399,600	137.0
委　託　料	1,296,864	23.7	1,286,064	23.8	10,800	0.8
動　力　費	1,009,845	18.4	1,066,448	19.7	△ 56,603	△ 5.3
負　担　金	65,800	1.2	65,800	1.2	0	0.0
そ　の　他	160,072	2.9	150,057	2.8	10,015	6.7
費　用　合　計	**5,485,263**	**100.0**	**5,401,601**	**100.0**	**83,662**	**1.6**